

平成30年度
「モラル・エッセイ」コンテスト受賞者一覧



福島県教育委員会

[審査結果]

この度は、「モラル・エッセイ」コンテストに多数の御応募をいただき、誠にありがとうございました。一次・二次審査を経て下記のように受賞者が決まりました。

受賞された皆様への表彰式は、平成31年1月7日（月）に福島テルサFTホールで実施いたします。9名の皆様、受賞おめでとうございます。

中学生の部 最優秀賞1名

「たくさんの人々が伸び伸びと共存する世の中へ」

南会津町立荒海中学校 3年 星 優妃 さん

優秀賞2名

「思いやり・協力」

郡山市立小原田中学校 2年 郡司 百華 さん

「同級生から学んだこと」

相馬市立中村第一中学校 3年 佐藤 凜子 さん

高校生の部 最優秀賞1名

「命輝かせて」

白河高等学校 1年 加藤 慶大 さん

優秀賞2名

「手紙」

白河高等学校 1年 奥山 凜 さん

「千年の想い」

相馬東高等学校 1年 西内 遥菜 さん

一般の部 最優秀賞1名

「弁当の思い出」

福島市在住 中山 輝雄 さん

優秀賞2名

「感謝」

西白河郡中島村在住 櫻下 茂男 さん

「2年後にもらった手紙」

福島市在住 猪股 淳行 さん

[応募総数]

	中学校	高等学校	一般	計
応募総数	941	163	7	1,111

〈審査委員〉	一次審査	義務教育課指導主事 高校教育課指導主事	
	二次審査	上越教育大学 副学長 福島県教育庁教育総務課長 福島県教育庁高校教育課長 福島県教育庁参事兼義務教育課長	林 泰成 氏 高橋 洋平 小島 稔 佐藤 秀美

[講 評]

- 日常生活で起こる様々な出来事に思いをめぐらせ、命の尊さ、思いやり・感謝、家族・郷土の大切さについて深く考える作品が見られました。
- 素直な心で自分自身に向き合い、周りの方との絆やこれからの自分自身の生き方を確かめながら、前向きに、よりよく生きていこうと考える作品が多くありました。